



平成 30 年 11 月 5 日

各 位

会 社 名 サンケン電気株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 和田 節
コ ー ド 番 号 6707 (東証 市場第一部)
問 合 せ 先 財務 IR 統括部長 後藤 明弘
T E L (048) 487-6121

第 2 四半期業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

平成 30 年 5 月 8 日に公表いたしました平成 31 年 3 月期の第 2 四半期連結業績予想と本日公表の実績値との間に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 第 2 四半期連結業績予想と実績値との差異 (平成 30 年 4 月 1 日～平成 30 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A) 平成 30 年 5 月 8 日公表	百万円 87,200	百万円 5,200	百万円 4,400	百万円 1,500	円 銭 61.89
今回実績 (B)	88,230	6,319	5,317	2,247	92.72
増減額 (B-A)	1,030	1,119	917	747	—
増減率 (%)	1.2%	21.5%	20.9%	49.8%	—
(ご参考)前期実績 (平成 30 年 3 月期第 2 四半期)	86,000	5,457	5,665	△13,113	△541.00

(注) 当社は、平成 30 年 10 月 1 日付で、普通株式 5 株につき 1 株の割合で株式併合を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1 株当たり四半期純利益を算定しております。

2. 差異の理由

白物家電向け製品の販売拡大が継続し、自動車向け製品も堅調な販売を維持したこと並びに為替が想定より円安に推移したこと等から、連結売上高は予想値を上回る結果となりました。売上拡大による工場稼働利益の増加並びに前期に実施した構造改革効果から、利益につきましても従来予想を上回ることとなり、第 2 四半期の業績予想と実績値との間に差異が発生いたしました。

以 上